



情報活用能力としてののねらい	活用できる教科や学習活動
<p>D7：情報社会の将来 ・情報技術の発展によって変化すること、変化しないことについて考える</p>	<p>技術科「情報の技術」、社会（公民）</p>

技術科「情報の技術」

自分たちの暮らしについて、情報技術の発展によって変化したことと情報技術の発展によっても変化しなかったことを学び、これからの情報社会において必要となる力を考える。

時間	学習活動	準備物・留意点等
5分	<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒のスマホやネットの利用状況について確認する。 	
15分	<p>1. 考えてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1989年（平成元年）の暮らしを見てみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 約30年前の1989年（平成元年）の暮らしについて、知っていることを共有させ、現在のように携帯電話を個人が自由に使えるわけではなかったことを伝える。 その上で、当時は以下のシチュエーションではどうしていたのかを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ①20時ごろ、今日の宿題が何だったかを友達に確認したいとき。 ②10時に駅で待ち合わせしていたけど、なかなか友達が来ない。でも10時10分には電車が出てしまうときにどうすべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
25分	<p>2. やってみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今の暮らしと1989年の暮らしを比較してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会（技術）の発展で「変わるもの」と「変わらないもの」について、1989年（平成元年）の暮らしと今の暮らしを比較しながら考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ①友達への連絡方法とそこで気を付けること ②写真の共有方法とそこで気を付けること ③お金の支払い方とそこで気を付けること ④情報の調べ方とそこで気を付けること 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
5分	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業で学んだことを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート

・連絡手段が家庭での黒電話や駅の伝言板から携帯電話に変化したことで、生活が便利になったことを実感させる。

・情報技術の進展について解説しながら、子供たちが知っていることを共有させる。

・未来について考えることが難しい場合は、今の暮らしと同じでも良い。

・マナーやモラルなどは、変化していないことに気付かせる。

情報モラル

情報社会の発展とモラル

1.考えてみよう 1989年（平成元年）の暮らしを見てみよう。

今から約30年前の1989年（平成元年）は、友達への連絡や駅での待ち合わせはどうしていたのかな？



	今の暮らし	1989年（携帯電話が普及していない頃）はどうしていたかを想像してみよう
20時ごろ、今日の課題が何だったかを友達に連絡したとき	SNSで友達にたずねる	友達の自宅に電話して、友人を呼びだしてもらい、宿題についてたずねる
10時に駅で待ち合わせをしていただけ、なかなか友達が集まらない。でも、10時10分には電車が出てしまうとき	SNSで友達に「先に行く」と伝える	駅の伝言板に「〇〇へ先に行きます」と書いておく

情報技術の進展

現在は多くの人が使っている携帯電話ですが、最初は自動車の運転電話からカーヒースがスタートしました。その後、1985年に初のポケット電話機「ジュールターン」が発売されました。今見ると、その大きさに驚きますね。1990年代になると、ビジネスマンを中心に小型の携帯電話が普及します。この頃の携帯電話は通話がメインで、メールやインターネットを使うことはできませんでした。今のようにメールが使えるようになったのは、1990年代後半から2000年代です。この頃は、書いた写真をメールで送る「写メール」という言葉も流行しました。2000年代にはインターネットを使うこともできるようになり、2008年には日本で初めてiPhoneが発売されます。今のようにスマホを持つ人が多くなったのは2010年代になってからのことです。こうして歴史を見ながら、その時代の生活を想像してみると、情報技術の進展により生活がどう変わったのかを実感できますね。



2.やってみよう 今の暮らしと1989年の暮らしを比較してみよう。

情報社会（技術）の発展で「変わるもの」と「変わらないもの」は何だろう？

	今の暮らし	1989年の暮らしはどうしていたかを想像してみよう	変わるものと変わらないもの、未来の暮らし
友達への連絡方法とそこで気を付けること	スマホに連絡	家に電話	変わらぬもの 電話がメッセージが、家族が本人が 変わらないもの 連絡するときのマナー 未来の暮らしは 新しい端末に連絡
写真の共有方法とそこで気を付けること	SNSで共有	プリントした写真を見せる	変わらぬもの 実物がデータが 変わらないもの 公開するときのマナー 未来の暮らしは 自動的に共有される
お金の支払い方とそこで気を付けること	電子マネー	現金	変わらぬもの 実物がデータが 変わらないもの 使えないこと 未来の暮らしは 電子マネー
情報の調べ方とそこで気を付けること	ネットを見る	人に聞く、本を見る	変わらぬもの 直接聞くか、間接的に見るか 変わらないもの 情報の信頼性を確かめる 未来の暮らしは ネットを見る

「未来の暮らし」とそこで変わらない「モラル」とは

1990年代の暮らしと今の暮らしを比較してみると、情報技術の進展とともに、生活やコミュニケーションの方法が変化していったことが分かります。では、これからの未来の暮らしは、どのように変わっていくのでしょうか。例えば、自動車の自動運転が実現されれば、これまでのようにドライバーや歩行者がリスクを予測する必要性が低くなり、安全教育の内容が大きく変わります。同時に、SNSなどを使用する際、AIが最適なメッセージを提案してくれば、コミュニケーショントラブルは減ります。不適切な写真をAIが自動的に削除してくれるれば、炎上も減ることになるでしょう。では、技術の進展による「変わらないもの」とは何でしょうか。特に、「モラル」とについては、技術の進展により変化するのが、変化しないのが、今後考えてほしいと思います。

学んだこと

アドバイザーのコメント

情報社会は日々進展しており、私たちが手にする情報端末も、ポケベル、ケータイ、スマホと変化してきました。今後も、AIの進展とともに、新しい端末やサービスが広がっていくでしょう。しかし、その時にマナーやルールはどのように変化するのでしょうか。マナーは進展とともに変化する面があるかもしれませんが、基本的なモラルは変化しないことをきちんと押さえることがポイントです。